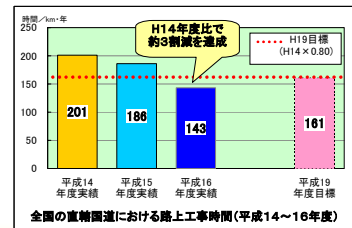


利用者の視点に立った路上工事縮減の取組み

路上工事縮減目標（5年で2割縮減）を平成16年度に前倒して達成。

路上工事マネジメントの強化を図り、地域の実情に応じた取組みを推進。



(1)指標の動向

- 1kmあたりの年間路上工事時間を集計し、路上工事縮減の取組みの成果をチェック
- 国が管理する全国の国道(直轄国道)における路上工事時間は、平成14年度と比較して約3割の縮減を達成
- 三大都市においては、直轄国道に加え、都道、県道、主要市道も含めて評価し、平成14年度と比較して、東京23区20%、名古屋市16%、大阪市47%の縮減を達成
- 道路関係四公団においては、全体として平成15年度と比較して約11%の縮減
- 平成17年度は、これまでの路上工事縮減の成果の定着を目指す

(2)達成度報告(昨年度の成果)

■ 道路利用者への路上工事情報提供の充実

① 路上工事情報のリアルタイム化

路上工事情報のリアルタイム化を図り、より正確な情報を提供する仕組みを導入した。

② 工事看板に「問合せ番号」を導入(東京23区)

直轄国道で行う工事現場の看板に「問合せ番号」を付け、ホームページや携帯電話から詳細な路上工事情報に簡単にアクセスできる仕組みを導入した。(http://www.ktr.mlit.go.jp/michi/) (図2-4)

■ 外部評価の強化による路上工事の縮減

① 毎月の路上工事時間を集計・公表

毎月の路上工事時間を集計し、地方整備局、国道事務所にフィードバックするとともに、結果をホームページで公表することにより、路上工事縮減に向けたマネジメントの強化を図った。(図2-6)

マネジメントの結果、各地域の実情に応じた様々な取り組みを実施し、例えば秋田では「路上工事抑制カレンダー」の取り組みにより年間交通量上位50日における路上工事を約6,000時間削減した。

② 「不人気投票」の実施(東京23区)

「問合せ番号」を使った「不人気投票」を実施し、毎週の投票結果をホームページで公表するとともに、各工事実施者において不満の原因分析を行い、工事実施方法等の改善に取り組んだ。(図2-7)

③ 路上工事Gメンによるチェックの実施(東京23区)

プロドライバーや一般公募のモニターの方に路上工事の実施状況をチェックしていただいた。

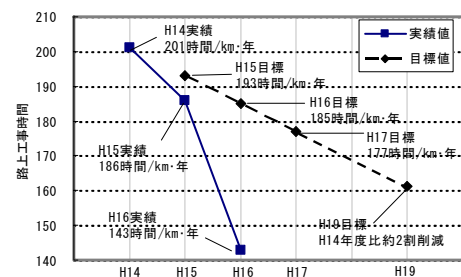
(3)業績計画(今後の取組み)

■ 満足度向上を図る取組みの推進

さらなる路上工事縮減と路上工事に対する満足度の向上を図るため、各地域の実情を踏まえた、よりきめ細かな路上工事縮減に取組み、地域の主体的な路上工事マネジメントを推進する。

また、平成16年度に実施した外部評価の強化による路上工事縮減については、実施結果を踏まえた改善を行ったうえで、引き続き、取組みを推進する。

平成15年度実績	1km当たり年間186時間	
平成16年度	実績	1km当たり年間143時間
	目標	H14年度比8%縮減
中期的な目標	H19年度までに約2割削減し、路上工事に伴う渋滞の軽減を図る。	
平成17年度の目標	H14年度比12%縮減(177時間/km・年)	



担当：道路局 国道・防災課